

Topics

4年ぶりに  
荒川リバーサイドマラソンが  
開催されました

令和4年11月13日、荒川河川敷右岸の荒川区営少年運動場等で「第29回荒川リバーサイドマラソン」が開催されました。

この大会は、荒川区で一番大きなスポーツイベントです。令和元年以降、台風や新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていたが、今回、4年ぶりに開催されました。

区内在住・在勤・在学の小学1年生から80代までの方が参加し、秋空の下、2・3・5・10kmのコースを思い思いのスピードで駆け抜けました。小・中学生も多く参加し、沿道からの応援を受けながら走りました。



▲元気よくスタート!

宮前公園で  
「えと芝アート」を開催中

宮前公園の芝生広場で、今年の干支である「うさぎ」をモチーフにした「えと芝アート」を2月28日まで開催しています。

宮前公園を利用している方々からデザインを募集し、冬でも枯れない「冬芝」を使って、芝生広場にうさぎを描きました。

公園を訪れた人たちは、写真を撮ったり、SNSに投稿したりして楽しんでます。ぜひ、皆さんも遊びに行ってみてくださいね。

来年は、「たつ」が描かれる予定です。どんなデザインになるか、今から楽しみです!



▲今年の干支、うさぎのアート

【お詫びと訂正】

第151号4面「あらかわ今昔ものがたり」について、よみがなに誤りがありました。「御十夜祭」の正しいよみがなは、「おじゅうやまつり」です。お詫びして訂正いたします。

問い合わせ 荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

なりたい自分になる!  
「ハイパーレスキュー」  
になるために!

将来の夢  
インタビュー  
第7回

消防署に勤務していた千田哲也さんは、なぜ、ハイパーレスキューになったのでしょうか? また、ハイパーレスキューになるために必要なことも聞きました。

いつごろからハイパーレスキューになりたいと思いましたか?

2011年に東日本大震災が発生したとき、私は上野消防署から派遣され気仙沼で活動していました。そこでハイパーレスキューの活躍を見て、私もハイパーレスキューを目指そうと思いました。

ハイパーレスキューになるために何をしましたか?

ハイパーレスキューでは、消防署にはない資機材や重機を扱うため、資格の取得に努めました。消防重機を操作するために、大型特殊自動車運転免許、小型移動式クレーン運転免許、小型船舶操縦免許など、さまざまな資格を取得しました。

ハイパーレスキューになって嬉しかったことは?

被災されている方をはじめ、ご家族や周囲の方から感謝の言葉をいただいたときは嬉しく思います。また、自分自身を誇りに思う瞬間でもあります。

ハイパーレスキューになりたい小・中学生にアドバイスをお願いします。

ハイパーレスキューには高度な知識・技術や体力が求められます。私も日々、知識・技術・体力の向上に努めています。また、災害現場は悲惨な現場となるため、強い精神力も必要です。常に「自分が助けなければ誰にも助けることができない」という気持ちを強く持つことが大切です。

千田哲也さん



東京都消防庁 第六消防方面本部 消防士長。小学生のとき、釧路沖地震、北海道東方沖地震を経験。その際、救助活動をしていた消防隊に憧れ、消防隊員を目指す。

応援message

才能の差はわか  
努力の差は大きい  
千田哲也

「才能がないと諦めないでください。努力をすることが重要です」と千田さん

あらかわ  
今昔ものがたり  
日 [あらかわの歴史と伝説]

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



その142 あらかわと徳川家康  
～家康さんの足跡探検!～

今年の大河ドラマは家康さんが主人公だね。あらかわにも家康さんや徳川家の足跡が残っているから調べてみよう。

江戸最古の千住大橋 えっ、隅田川に架かる千住大橋は、家康さんが架けた橋だって? 文禄3年(1594)に家康さんが架けさせた江戸で一番古い橋だよ。よく覚えていたね。実はね、その他にも、もっと足跡があるんだよ。

三河島の由来は? 家康さんは天正18年(1590)に豊臣秀吉さんの命令で江戸に入城した。区役所があるあたりは、三河島と呼ばれていた。いくつかある由来の一つに「家康さんが江戸に入ったとき三河国から家康さんに付いて来た武士が治めるようになったので三河島になった」という説があるんだよ。本当かどうかは別として、ここにも家康さんが登場するね。

お稲荷さんの刀 三河島駅の近くに、三河島の鎮守、稲荷神社(荒川三丁目)がある。三河島は将軍鷹狩の地として有名だ。『新編武蔵風土記稿』という江戸時代の本によると、神社の宝物

に長さ1尺2寸(約36.36cm)の「葵康継」という刀があったそうだ。越前国(今の福井県)の越前康継さんが作った刀だよ。家康さんの次男・越前藩主結城秀康さんの推薦で、素晴らしい刀を作ったので家康さんから「康」の字を頂いて「康継」を名乗り、徳川家の家紋・葵御紋を刻むことを許されたんだ。家康さん所縁の職人が作った刀が奉納されたんだよ。すごいね。

あらかわの餅つき歌 当時のあらかわの人たちは、徳川家に対して特別な気持ちを持っていたみたいなんだ。

「祝いめでたの若松様よ枝も栄えて葉も茂る へ門に門松内や姫飾り神をいさめて年をとる これは、農家に伝わっていた餅つき歌の一部。年末に上野の寛永寺(台東区)に向かい餅をつき、家康さんを祀る東照宮に奉納する習わしがあった。寛永寺は、徳川家の菩提寺で、あらかわのほとんどが寛永寺の領地だった。当時の村人は寛永寺を通して徳川家との結びつきがあったんだね。あらかわには家康さんや徳川家の足跡を伝える史跡がたくさんあるよ。今度、みんなで探検してみてね。

徳川家康像(東京都江戸東京博物館蔵)

